

【小学校の部 優秀賞】

「好ききらいをなくそう」

香芝市立旭ヶ丘小学校 6年 尾崎 咲穂

私は魚がきらいです。なぜかというと、生ぐさいし、味もおいしくないと思うからです。でも、今回食育のことを調べて、少しずつ魚をたべていこうと思いました。

そう思った理由の一つ目は、食べられるのに捨てられているごはんの量を調べたからです。食品の一年間に捨てられる量は、約1,700万トンです。私はそれを調べてびっくりしました。そして、その中の約632万トンは、食べられるのに捨ててしまったものや、『好ききらい』でのこされてしまったものです。私は、自分がきらいで残してしまっているものもたくさんふくまれていると思ったら、きらいだからといって、すぐ捨ててしまうのではなく少しずつでも食べていきたいと思いました。

二つ目の理由は、ごはんを食べれない人もいるということです。世界には70億人の人がいてそのうちの8億4,000万人の人がまんぞくしてごはんを食べれていません。その人たちは、栄養がたりなくて病気になっている人もいっぱいいるそうです。私は、このことを知って、ごはんを毎日食べれるということはとっても幸せなんだなと思いました。今回、「食べものを捨ててしまう量」のことと「まんぞくしてごはんを食べれない人」の二つを調べて、きらいだからといって食べ物を残すのはやめようと思います。まず少しずつ食べていき、最後には、克服しようと思います。そしてこのことをみんなにもっともっとしてもらいたいなと思いました。